

平成21年度第1回 公民館運営審議会会議要録

日時：平成21年 4月14日（火）

午後3時～5時まで

場所：小平市中央公民館 会議室

1. 出席者

公民館運営審議会委員 11名（欠席 2名）

事務局 館長、館長補佐、管理係長、分館主査、（欠席0名）

2. 傍聴者 0名

3. 配付資料

- ・平成21年度公民館関係予算 資料①
- ・平成21年度小平市立公民館事業計画 資料②
- ・平成21年度公民館定期講座一覧表 資料③
- ・平成21年度公民館運営審議会計画表 資料④

4. 議題等

(1) 報告事項

①館長報告

- ・4月人事異動について

館長・主査・主任・主事補の異動があった旨の報告、及び異動者の挨拶を行なった。

②公民館関係予算について

- ・21年度公民館関係予算の歳入・歳出について説明を行なった。 資料①

③公民館事業計画及び定期講座一覧表について

- ・21年度については、配布資料の内容で実施する旨の説明を行なった。 資料②③

④各係からの報告

- ・事業係及び各分館主査より、募集中の講座の応募状況の報告、及び公民館まつりに
ついて内容説明を行なった。

《主な質疑》

委員 まつり講演会は、直江兼続や裁判員制度を取り上げたタイムリーな企画なので、市民も楽しみにしていると思われる。

委員 公民館まつりについて、良い点・悪い点・問題点等の解説をしてもらいたい。

事務局 地域に根ざした公民館として、職員だけでなく、友の会や利用懇などの方々も参画して作り上げていくことが大切であり、一番の良さであると思

われる。一方、会議への出席や役員の選出が負担となってもいる。公民館を利用してない方の参加が少ないのも問題点であるが、児童・生徒が演奏で出演したり、絵画・陶器などの作品を出品することにより、本人・家族等の来館が見込まれ、公民館の利用につながるチャンスと考える。

- 委員
事務局 サークルと講座の相違とメリットは。
参加者から見れば、相違が無いように受け取れるかも知れないが、取り組み方に相違がある。公民館の講座は、組織的な教育活動で、学習のきっかけづくりや地域での仲間づくりなどを指すものであり、世代間交流や住民連携を深める施策を講じている。講座受講により資格の取得に有利となるようなメリットはない。技術・技能のみを更に高めたい方は、カルチャーセンター等に通うなどの方法を探っていただくことになる。
- 委員
事務局 仲町の「私らしく花と向き合う」と「男も女も介護入門」について説明を。
「私らしく…」は、花材を使用して自己表現することをテーマにしたものである。「男も…」は、男性にも介護を学ぶ機会を提供するもので、土曜日の夜間に設定する。介護サービスの具体的な使い方、有料老人ホーム・特別養護老人ホームの実態について知ることで、家庭の中に閉じこもりがちな介護の問題を、みんなで語り合える場にしたい。
- 委員
事務局 4月5日号の市報の講座募集記事は見やすかったが、もっと市報以外でも市民に知らせて欲しい。ホームページでも見られるようになっているが、公民館からだけでなく、他の部署からも公民館の講座を検索できるようにできていいのではないだろうか。
- 事務局 どのようにすばらしい事業でも、市民に知っていただかなければ意味がない。PRの方法は、研究・工夫していきたい。

(2) その他連絡及び報告事項

- ① 4月15日（水）東京都公民館連絡協議会の総会が開催される。
- ② 4月24日（金）小川西町公民館友の会総会を行なう。午後の半日で、部屋割調整会議・友の会総会・運営委員会・実行委員会を順次行なう予定。傍聴可能なので、是非参加を。

5. 公民館運営審議会委員自主研修

- ① 平成21年度公民館運営審議会の運営方針について
- ② 平成22年度東京都公民館連絡協議会研究大会に向けて
その他について討論を行った。

次回は、5月12日（火）午後3時より、中央公民館会議室にて開催する。